



テーマ

## 世界でたった一人の自分を大切にすること

～心の尊厳とセラピー～

人はなぜ怒るのでしょうか？平穏な人生を求めながら、現実にはどうしてもない怒りの感情が湧き起こることがあります。しかし、そのようなネガティブな感情にこそ自分を元気にする力があるのです。なぜなら、怒りの感情の源には自分を大切にしたい気持ち—自尊感情が潜んでいるからです。でも、怒りは自分も他者をも傷つけます。最近の通り魔的な傷害事件や家族間の殺人事件……。方向を見失った怒りは、自尊感情の最後の叫び=サインなのかもしれません。そのサインを受け止め、自分らしく生きる力に換えるにはどうしたらいいのか？今回は、心の尊厳を取り戻すセラピーについて考えてみましょう。

合同プログラム **8/2** [土] 14:00~19:40

### 第1部 ゲスト講師講演会 「怒りと尊厳」

◆家族カウンセラー 中尾 英司

今回お招きするのは、虐待、不登校、引きこもり、パワーハラスメント、モラルハラスメント、DV、世代間連鎖の問題で、日本全国で訪問カウンセリングをされている中尾英司さん。その経験から、家族の問題は社会構造の問題であるということを鋭く指摘されています。

昨今、なぜ悲惨な事件が絶えないのか？ その背景にある「怒り」の感情とはどこから生まれるのか？ 家族カウンセラーとして感じてきた、家族における「怒り」と「尊厳」をテーマに語っていただきます。



◆中尾英司 / なかおひでし

家族カウンセラー。テレビ東京、TBS、フジテレビ報道でコメンテーター出演。米国日系社会生活情報誌「Pavilion」及び交流分析協会関東支部会報に連載中。中尾相談室主催。著書：『あきらめの壁をぶち破った人々』（日本経済新聞社）『あなたの子どもを加害者にならないために』（生活情報センター）

### 第3部 末永蒼生講演会

「表の自分と影の自分の関係～まるごとの存在を生きるとは？」

好きな自分と見たくない自分。人に好かれる自分と嫌われる自分。成功を求める自分と失敗をしてしまう自分。人はなぜ、自分の心に光と影を生み出してしまうのだろうか？参加者と共に、意識と無意識がせめぎ合う心の力に迫るトーク&色彩セッション。

◆末永蒼生

「アート&セラピー色彩心理協会」会長/色彩心理学者(株)ハート&カラー及び「末永メソッド色彩心理研究所」「色彩学校」「アートランド」代表



### 専門プログラム

1日目 **8/2** [土] 11:00~13:00

#### ライセンス保持者のための研修分科会

##### A 講師ライセンス保持者

「なぜ他者からの評価が気になるのか」  
ワークショップ&交流会

##### B チャイルドライセンス保持者

「子どもの心の尊厳を考える」  
絵の読み解きディスカッション&交流会

◆ダブルライセンス保持の方はどちらかの分科会を選択してご参加ください。

2日目 **8/3** [日] 11:00~18:00

#### チャイルドアートインストラクターのための研修会 (ライセンス保持者)

- \*ワークショップ「わたしの大切なものを確認するワークショップ」
- \*末永蒼生レクチャー
- \*事例持ち寄りディスカッション
- \*絵の読み解きライブ
- \*レポート提出者受賞式

### 第2部 ◆会員活動報告

齊藤真弓さん

「社会福祉法人清遊の家 うちらら保育園」園長  
「子どものアトリエ開設コース」東京校2期終了

保育園の園長として、自由創作の場を設置するなど、園児のメンタルケアを実践。2008年2月には子育て支援サークルを対象に末永蒼生講演会も企画。

二子石千奈美さん

「色彩学校」認定講師、「ぶらずむ」主宰  
大分校4期、「認定講師養成コース」終了

色彩表現を通して自らの親子関係を見つめ直した経験から、親と子のワークショップや定期講座などを主催。「色彩学校」福岡校で認定講師として活動。

### ◆「色彩心理士」認定証授与式&活動報告

白 楽善 (ベク・ナッソ)さん

美術治療家、「韓国・末永メソッド色彩心理研究所」代表

美大で絵画を学んだ後、アートセラピストとして活動する。「色彩学校」東京校に留学後、「色彩学校」ソウル校を開講、代表を務める。障害児福祉施設や高齢者施設などでワークショップを実施し、韓国において意欲的に末永メソッドを実践している。



原 映子さん

提携アトリエ「スペース16」主宰  
「子どものアトリエ開設コース」大阪校1期終了

子どものアトリエを主宰する傍ら、ボランティア団体「色のアトリエ」代表として、ワークショップなどを主催。2006年京都府「引きこもり支援サポーター」の委嘱を受け、アートによるコミュニケーションの場を提供している。

